

愛知製鋼株式会社 アイチセイコウカブシキガイシャ

石黒 郁乃 いしぐろ いくの

私たちの勤務する愛知製鋼は、愛知県東海市に本社を置き、創業者の豊田喜一郎の「良きクルマは、良きハガネから。」の理念を、現在でもつらぬき続ける、自動車向け特殊鋼メーカーです。

私達のサークルは、安全衛生環境部、鋼生産技術部、ステンレス生産技術部の3部署の庶務で構成、私、石黒は、所属する安全衛生環境部で、みんなが快適に働ける環境づくりを推進しています。

サークルレベルはDゾーンです。働き甲斐もあり、明るい職場ですが、以前は5名もいたサークル員も私、石黒以外は異動などで全員が入り替わり、新人加入もあってサークルレベルが低下しました。

職場の異なる私達は仕事内容を把握できないため、何度も会合で業務での困りごとを話し合い「全員参加」「納期」「サークルの関与度」「効果」についてマトリックス図で評価。高評価の『安環部への問い合わせ対応』に決定しました。

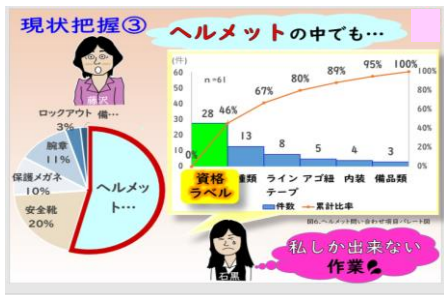
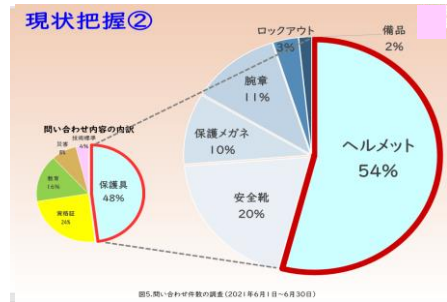
業務内容	全員参加	納期	サークル員関与度	効果	評価
安環部への問い合わせ対応	◎	△	○	◎	1
修了証発行時間軽減	△	○	△	○	4
災害統計軽量化	△	◎	△	◎	2
書庫管理方法改善	◎	○	△	○	3
フロア5S	◎	△	◎	△	2

QCサークル紹介	サークル名 (フリガナ)		発表形式	
	口福サークル	(コウフク)	プロジェクト	
本部登録番号	64-177	サークル結成年月	2015年9月	
メンバー構成	4名	会合は就業時間	(内)・外・両方	
平均年齢	40歳 (最高 50歳、最低 27歳)	月あたりの会合回数	2回	
テーマ暦	本テーマで 7件目 社外発表1件目	1回あたりの会合時間	1.5時間	
本テーマの活動期間	2021年5月～12月	本テーマの会合回数	24回	
発表者の所属	安全衛生環境部		勤続	11年



問い合わせ内容を把握するために、問い合わせ件数と対応時間を1ヶ月調査しました。その結果127件もの問い合わせがあることがわかり、その対応時間は、510分もかかっていました。

また、127件のうち保護具関係の問い合わせが61件で、全体の48%、保護具の中でもヘルメットの問い合わせが54%も占めていることが分かりました。



問い合わせの内容は、ヘルメットの種類、職種別のラインテープ、アゴ紐の種類や取り付け備品 など多様に渡りますがその中でも46%が資格ラベルということが判明。取得している資格を1つ1つ調べなければならず、部署内でも私しかできない作業ということもあり、メンバーに相談してみました。

実はヘルメットについては以前、高温でヒビが入ったり内装の発泡スチロールが縮む、という問題があり、ヘルメットを変更しリニューアルしています。その時、資格ラベルも熱で損傷してしまうという問題も同時に発生していたのですが未解決まです。



改めてラベル作業について現状把握をしました。配布と問い合わせを含め、かかる時間は218分で一番時間がかかっています。作業時間と同時に資格ラベルの損傷も解決したいという結論になりました。

目標設定です。  
困りごとを踏まえ、目標を2022年1月までに資格ラベルに関する困り事ゼロへ！に決定しました。



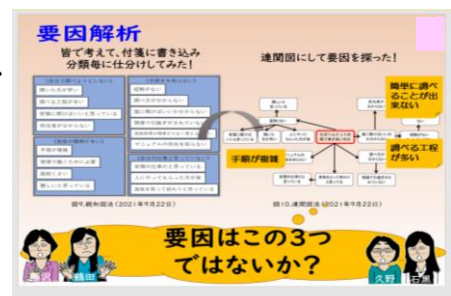
活動計画では、サークルメンバー全員が役割を持って進めていくようにしました。

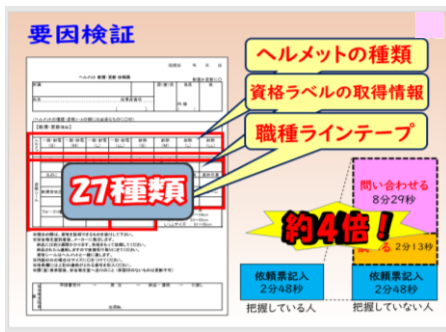
要因解析。  
メンバー全員で、意見を抽出。

親和図で要因別にグループ分け、連関図を作成。

- ①簡単に調べられない
- ②調べる工程が多い
- ③手順が複雑

要因はこの3つではないか？と考えました。



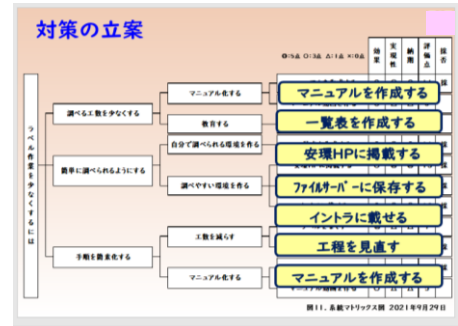


要因検証です。

ヘルメットを依頼する時には、資格ラベル依頼表を作ってもらっています。この依頼表には選択項目が多く、27種の中から選ばねばなりません。自分が取得している資格がわかっている人と、わからない人では違いが多いのではと、考え調べてみたところ、自分の保有資格がよくわかっていない人は、問い合わせ時間が4倍もかかることがわかりました。

対策の立案です。

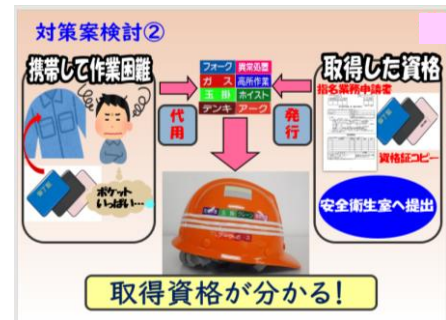
資格ラベルに関する問題を解決するための対策を話し合い「効果」「実現性」「納期」で評価し、評価11点以上の対策案を実施することにしました。



対策案検討です。

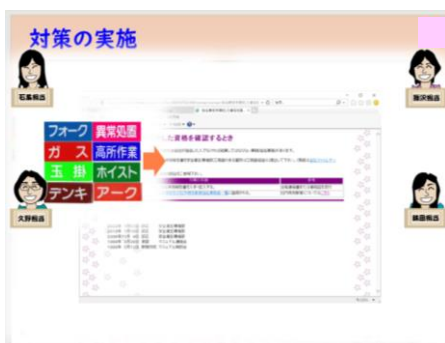
「そもそも資格ラベルを無くしたらどうなるの?」とサークル員の藤沢さんから素朴な質問が、無くすことはできないだろうか?早速、資格ラベルを貼付することになった経緯を調べました。

調べてみたところ法律上では資格証の携帯は必須です。しかし社外取得の資格については資格証が別々になるため何枚も携帯することが困難で、この携行の代わりに安全衛生室に資格証を示し、ラベル発行をしている。ということがわかりました。



現場からは、「資格ラベルが無くなるとると寂しいなあ。」との意見がありました。久野さんから「うちの子どもはキャラクターのカードを集めることがステータスになってますよ。また新しい何かが出ると、全部集めたいくなるんですよ。」と、母のつぶやき。無くす代わりに携帯できるものがあるといいのかも?!と、工場へ提案してみることにしました。

各工場の安全担当者に相談すると「代わりにあるものがあると嬉しいし、安全だよなあ」との意見をいただきました。また、鶴田さんから「車の一枚でいくつもの免許が載ってますよね。」



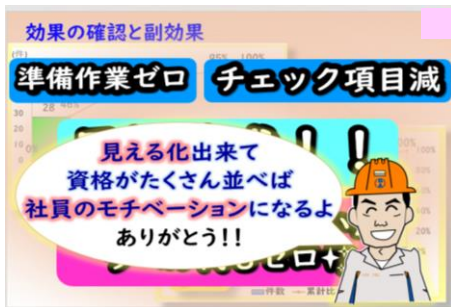
対策の実施です。

一覧表作成、ファイルサーバー保存、申請作業手順の見直し、の3点を実施いたしました。



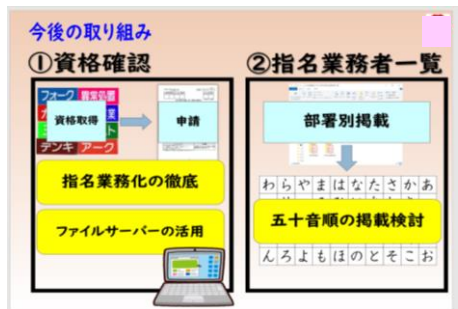
効果の確認では、改善後、資格ラベルに関する作業時間、問い合わせ件数を再度調査、5件に減ったものの資格ラベルがなくなったことの周知がなかなかできず問い合わせはゼロにすることができませんでした。

再対策です。サークルメンバーと話し合い周知する方法を考え申請後に渡していたラベルを在庫分までは配布することにしました。「配布終了」というメモを同封し廃止をお知らせすることにしました。



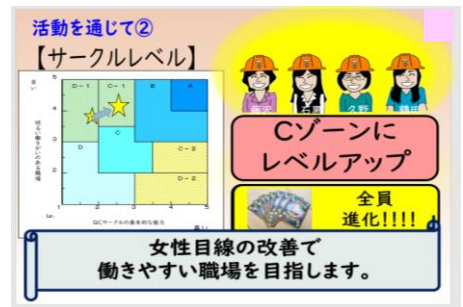
効果の確認と副効果です。各工場へ周知することにより資格ラベルの質問、問い合わせがゼロとなり繰り返しの作業となりましたが、目標達成することができました。現場の方々からも、「これで見える化できて資格がたくさん並べば社員のモチベーションになるよ!」との言葉がもらえました。

標準化と管理の定着です。安全衛生環境部のみの困りごととして始めた改善なので標準化と管理は当然、私のみとと思っていましたが、メンバーから協力の言葉ももらいました。サークルがひとつになった瞬間を実感できました。



今後の取り組みは、ファイルサーバーの活用、部署別で掲載から五十音順の記載検討をしていきます。

サークルレベルはDゾーン入口から☆Cゾーンへレベルアップ!



活動を通じて。このコロナ禍という大変な時期でのQC活動。メンバー全員で集まることが難しく、顔を合わせての会合が出来ずやりづらい部分もありましたが、

リモートワークでの会合を開くことで活動することができました!

